

# 神戸祇園だより

令和元年7月

No.5

神戸市立神戸祇園小学校

<http://www2.kobe-c.ed.jp/kgm-es/>

失敗をしたことがありますか？

私は、多くの失敗をしたことがあります。その中でも、社会人になって1年目、自然の家で働いていた時、登山の下見でデジカメを紛失しました。私の管理が悪く落としたのですが、施設の裏で隠れて落ち込んでいると、ゆっくり話を聞き、「立派な先生になって恩返ししてくれたい、ただ、反省すべきは反省していこうな。」と声をかけていただきました。その温かさに涙がこぼれました。

大人ですら失敗をします、子供ならなおさらです。失敗を恐れず、挑戦して乗り越え、失敗を繰り返さぬよう考える人になってほしいです。そのために、大人が手助けしていきたくと思います。大人は忙しく、ゆっくり話を聞く時間がない時もあります。ただ、そんな中で少しでも子供たちの話に耳を傾け、話をすることが大切だと考えます。「〇〇さんの気持ち分かるよ、ただ、△は口かもね。」と話をすると、きっと次同じ場面で、何かが変わる。すぐに変わらなくても、そんな温かい言葉と姿勢が子供たちに伝わると信じ、愛をもって指導していきます。

ただ、失敗できないこともあります。命に関することです。

以下については、もう一度お子さんと確認をお願いします。

①道を渡るときは、青信号でも左右を確認して渡る。

→神戸市では、交差点での飛び出しによる事故が多発（80%）しています。

②自転車に乗るときは、相手を怪我させるかもしれない。

→自転車走行中の児童が、歩行中の方に衝突する事故が問題になっています。

なお、神戸市では、自転車損害賠償保険等への加入が義務づけられています。

③大丈夫だろうではなく、危ないかもしれないと常に考える。

→夕方5時以降交通事故が急増します。最近では、児童が交通ルールを守っていても事故にあうこともあります。一人一人が「~だろう。」ではなく、「危険かもしれない。」とその場で考え行動できるようになってほしいです。

最後に、保護者の皆様と協力して、「自ら考え行動できる子供たち」を育てていきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いいたします。

生徒指導 飯田 大介